

1. 真剣!! マーブリングのハンカチ作り!
2. 画用紙いっぱい描くのが好き!
3. ワークショップで地域の方と繋がりました
4. ポカポカ陽気の下でひと息。気持ちいいなあ

5. 菜の花に誘われて
6. すくすく成長した藍の摘み取り
7. 電車みたいにつながって散歩
8. お花見。お団子でも食べたいねえ

9. ブルーシールアイスを食べる沖縄気分♪
10. BEYOND CAFEさんに納品する丹羽さん
11. 「今月もお疲れ様でした」大事な給料日
12. 公園でリフレッシュする塩谷さん

13. 私のおすすめの一曲♪
14. 秋がやってきたね!
15. 森林浴を楽しみながらの散歩
16. 藍を植えるために畑を耕しました!

17. 茶畑へ! 出発進行!
18. 一緒にがんばろーねー! ふたりは仲良し!
19. みんなと散歩。楽しいね♪
20. こつこつシールを貼って完成させました!

21. いい天気♡気持ちがいいね!
22. 「今日の調子はどう?」
23. おやつ美味しいよ
24. お互いに応援あって仕事に取り組みます

25. 弾き語り始めるよー
26. 仕事後のお茶休憩「おつかれさま」「ありがとう」
27. きれいな青空の下で一枚
28. ガラポン抽選会で特賞を当てた佐藤さん

29. 収穫した里芋の葉っぱを持ってはいポーズ
30. たくさんお茶を摘んだよ
31. 柴橋市長にマーメイドを贈呈
32. 美味しいお茶がはいりましたよ!

33. 散歩の合間のティータイム
34. スイッチON!!
35. 小旅行で食事を前に笑顔の宮脇さん
36. 立派なメキシカンセージをいただきました!

37. 「ねえねえ」「なにに」と大好きなコミュニケーション
38. 楽しくおしゃべり
39. 仕事!がんばってます!!
40. マルシェ企画『音を楽しむ』ドラムに初挑戦!!

夢よもつと  
ひろがれ



# 2022 Annual Report







## ごあいさつ

この度2022年度年次報告書を発刊し、いぶきの1年間の活動の報告を致します。2022年度の日本の障害者問題に関する重要事項として、9月になされた障害者権利条約に関する国連の勧告がありました。障害者権利条約は、障害に基づくあらゆる差別の禁止などを定めた2006年の国連総会で採択された条約で、現在185の国と地域が批准しています。日本は2014年に批准しました。その条約に基づき、日本政府は批准後どのような取組みをしてきたのか、国連の権利委員会による初めての審査が行なわれ、2022年9月に総括所見・改善勧告が公表されました。勧告は総括所見と条約46条の全ての条項について意見と勧告を述べた詳細なものです。

障害者権利条約の定める条項や今回の国連の勧告は、障害者施策の進んでいるEUや北欧の国々の実情を踏まえてなされています。この20～30年は比較的取組みがされてきたと感じられる日本の障害者福祉ですが、今回の勧告を読むと日本は未だ周回遅れの印象がします。日本の障害者施策を、今後どのように進めていくかは、今回の勧告を目標にしながら、やはり日本の現状を踏まえた現実的で一歩ずつ前進していく着実な取組みが求められるのではないかと考えます。

いぶきにおいては、法人設立30周年を2024年7月に迎えますが、上記の障害者権利条約の意見書を学習検討し、いぶきの設立の理念を見直し、新しい理念、目標を設定して更に前進したいと考えています。

皆さんのご理解とご支援を改めてお願い致します。



2023年7月吉日

社会福祉法人いぶき福祉会  
理事長 横山 文夫

## 作者の紹介



〇イラスト：佐藤紀子さん

# 2022

〇数字(切り文字)：桑原拓也さん

## もくじ

- 2-3 ごあいさつ、いぶき福祉会概要
- 4-7 特集：ポストコロナのつながりづくり
- 8-11 活動報告
- 12 新たなつながりと、育んだプロジェクト
- 13 パートナーズボイス
- 14 数字で見るいぶき
- 15 2022年度財務報告
- 16 2023年度の取り組み
- 17 いぶきを応援
- 18-19 ご支援くださる団体のご紹介

## いぶき福祉会の概要



### 基本理念

どんな障害のある方も、生き生きと暮らしていける地域社会の実現を目指し、障害のある方自身とその家族、職員、地域の人々が、力を合わせて活動していきます。

- 1 労働を通して障害のある方の発達を保障していきます。
- 2 生活体験を広げ、人間らしく豊かな生活を目指します。
- 3 障害のある方の権利保障を追求していきます。



### 事業内容

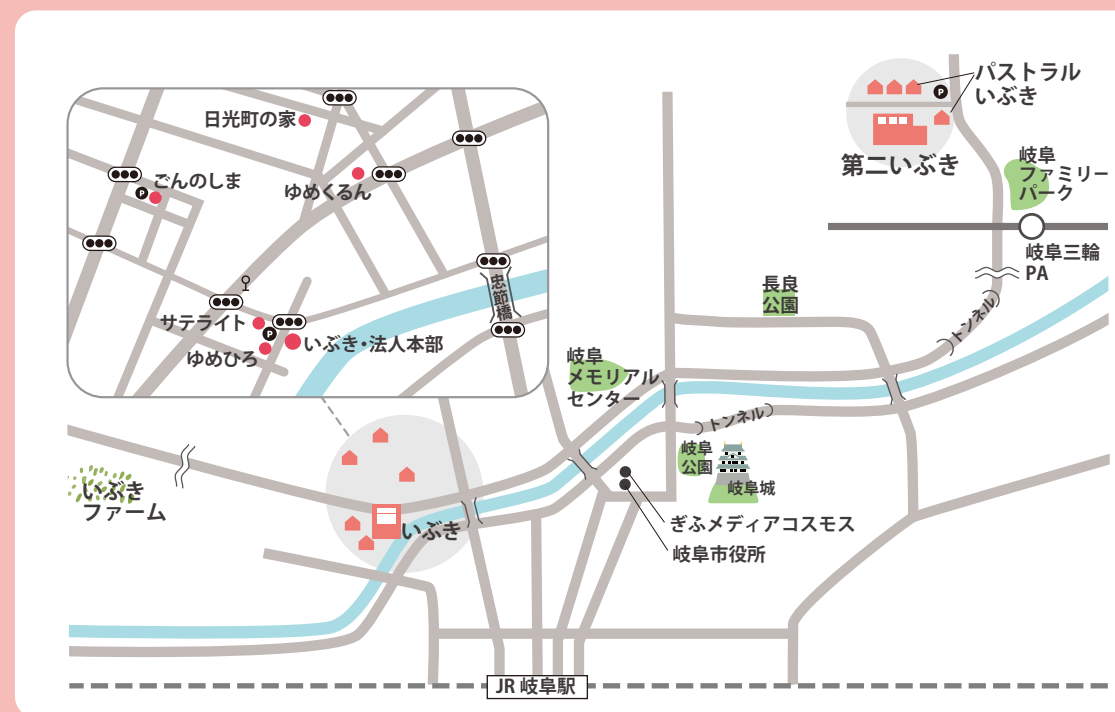
#### 《障害福祉サービス事業》

就労継続支援B型	1カ所	定員20名
生活介護	7カ所	定員140名
共同生活援助	4カ所	定員48名
計画相談支援	1カ所	
短期入所	2カ所	定員6名
居宅介護	1カ所	

●利用者数：通所148名・グループホーム48名  
(2023年4月現在)



### 事業所マップ





法人ができて30年。

誰もが安心して暮らせる地域をめざすいぶきは、仲間・職員・保護者・役員・たくさんの地域の方々ができることを持ち寄り、喜怒哀楽をともにしながら日々の営みを重ねてきました。その活動のまんなかには仲間がいることが、私たちの誇りでした。

ただ、規模が大きくなるにつれ、職員集団を中心に自分たちできちんとやらなければという気持ちも強くなって、開こうとすればするほど閉じていってしまう。そんなジレンマに陥ってしまったような気がします。

# いぶきのえんがわ

コロナが流行して3年。

不安や緊張につつまれ、楽しく暮らすことをあきらめてしまいそうになる日々でした。困難を乗り越えることができたのは、仲間のあたり前の日常を守りたい強い思いと、共感し協働してくださる方々の存在があったからです。つながり、力を合わせ、ささえあうために私たちは一緒にいるんだなど。今更のようにそんなことを思った時、ふっと肩の力が抜けたような気がします。

今私たちは、元に戻るのではなく、新しい暮らしを創ろうとしています。大切にしたいことをもう一度みつめなおしながら模索しているのは、ポストコロナの協働のかたちです。小さな関わりしろがたくさんあって、いろいろな人がいろいろな形で参加できること。回数を重ねること。できればマメに。一緒につくるということ。してあげる、してもらおうという関係ではなく、ゆっくり丁寧に育てること。

その形のひとつが、「にっこりえんがわマルシェ」でした。「えんがわ」という言葉はすっかり私たちのお気に入りです。内と外をつなぐひろかれた場。一緒にいるのに、すごし方にしぼられないおらかな空間。つながりが見えると安心します。それが、ソーシャル・キャピタルを醸成すること。私たちの地域づくりです。最近、いぶきを訪ねる人が一気に増えています。やっぱり人と会えるのは嬉しい。だから「つながりをあきらめない」「対話をやめない」人の結び目を作り続けることが私たちの役割です。



## “にっこりえんがわマルシェ”と新しい日常

永田 和樹

2022年7月より、毎月1回「にっこりえんがわマルシェ」を開催してきました。「心や感情が揺れ動くような体験を」をテーマに、カブトムシふれあい体験、いぶきのものづくりのワークショップ、リサイクルや防災の学習などに取り組みました。子どもたちにいかに楽しんでもらうかを仲間たちと一緒に考えています。

### えんがわにうまれた新しい日常

参加人数は数十人と、小さなイベントですが、毎月参加してくれる顔なじみの子どもたちがいます。そうした子どもたちが増えるにつれ、わたしたちの日常に変化がうまれてきました。

毎朝、幼稚園バスに乗り込む女の子。最初は泣き声が聞こえてくることもあったのに、今では「きょうは～してきたよ！」と笑顔で報告にきてくれます。大きくなったねえと思わずにっこり。そのまま、「〇〇ちゃんも一緒にやる？」とアート活動に飛び入り参加することも。

「ただいま！」が元気な学校帰りの小学生。ある日、カブトムシの幼虫を見せてほしいとやってきました。「〇〇くん、おうちの人や宿題は平気？」と聞くと、家に戻ってお母さんと遊べる時間を相談。えんがわに寝転び、時間いっぱい幼虫を愛でている姿に思わずほっこり。

そうした元気な子どもたちに、最初は戸惑いもあった仲間たち。今では「〇〇ちゃんがまたきたよ」と笑顔で迎え入れています。子どもたちが夢中になっている様子を優しく見守ったり、一緒に楽しんだあとは玄関まで出てきて笑顔で「またきてね」とお見送りをしたり。仲間たちも、地域の子も一緒にいることが当たり前になってきています。

### これからの日常

最初はイベントの“お客さん”だった子どもたち。いつしか、角に住んでる〇〇ちゃん、向かいのおうちの〇〇くんと、顔を見て名前を呼ぶようになりました。そうした関係へとつながったことが、お互いが当たり前にいる日常を生んだのだと思います。そんな子どもたちとこれからどんな日常を創っていけるのか。そんな子どもたちが成長し、社会へと出るとき地域がどうなっていくのか。今から楽しみで楽しみでワクワクがとまりません。





新しい / つながり / はじめました

## 第二いぶき防災デー

2023年2月23日(木)

いざという時の安心を一緒に築いています。

藤澤 亮太

2020年4月に開所したパストラルD棟に、福祉避難所(通称防災室)を併設したことをきっかけに、第二いぶき防災デーを開催しています。初開催の2021年度は、コロナの影響で施設内のみでの取り組みでしたが、2022年度は地域の方々をお招きすることができました。

第二いぶきの仲間代表の柴さんは、防災室とオンラインでつないだ生中継の司会、役員の安藤さん、玉木さん、高瀬さんは防災室で福祉避難所の紹介、備蓄品の



の紹介や体験コーナーなどそれぞれ役割を担いました。また、仲間の防災意識を高める取り組みの動画を視聴するスペースも用意しました。当日は80名の方にご参加いただき、防災デーをとおして、福祉避難所のことや防災について知っていただく機会になりました。いざという時のために、地域の方々とお互い顔がみえる関係づくりや助けあいにつなげたいと思います。

大切にしてきた / これまでの / つながり

## いぶきふれあいまつり

1992年～2019年 28回開催

「まつりで会おうね」が合言葉でした。

森 洋三

無認可時代の1992年に法人化に弾みをつける活動として始まり、コロナで中止されるまでほぼ年1回ずつ、島小学校をお借りしてバザーやステージ、会場企画を行っていました。仲間・職員・家族・支援者が手弁当で作っていきおまつりは、当初100人規模でしたが、年々規模が拡大し最終的には1000人以上の方が来場するものになりました。仲間たちのねがいを表現、発



表する場でもあり、仲間の仕事・生活・将来の夢と法人化、グループホーム設立、制度改変などのその時々の課題が重なり、方向性を共有する場でした。また、ボランティアや地域の方も加わったいぶきにかかわる方が一堂に顔を合わせて、みんなで作りあげ楽しむ経験は、自分たちの関係や現在の居場所を確認する機会になっていました。

## 「安心して暮らせる地域づくり」アンケート

私たちの地域づくり。その進展を確かめていく具体的な方法のひとつとして、ソーシャル・キャピタルの豊かさを表現し、私たちの「いま」をたくさんの方と共有したい。そんな思いで、来年度設立30周年を迎えるこの機に、年一度のアンケートを始めました。

ソーシャル・キャピタルを構成する3つの要素について、具体的な人・場面をもとに5段階で回答していただきました。5段階のうち3以上の回答者の割合をグラフで示したものが以下の3つになります。この面がどんどんひろがっていくことが、私たちの願いです。

### ソーシャル・キャピタルとは

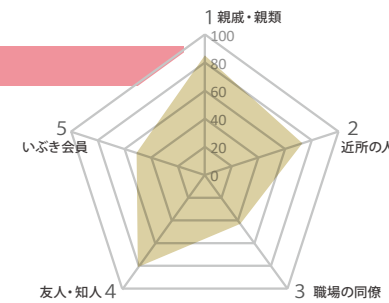
①社会的ネットワーク、②互恵性の規範、③相互信頼からなるとされるこの概念を、私たちは「地域や社会の中で、信頼しあい、お互いさまと思ひ合える豊かなつながりを育むことの大切さ」と表現しています。いぶきの日々の営みがソーシャル・キャピタルを豊かにし、誰もが安心して暮らせる社会につながると考えています。

実施期間 2023年4月28日～5月14日  
実施方法 ウェブフォーム・手書き  
対象者 社会福祉法人いぶき福祉会会員(いぶきファミリー)735名  
回答者数 150名/回収率20.4%

### ①社会的ネットワーク

Q.次の人たちとの付き合いの頻度

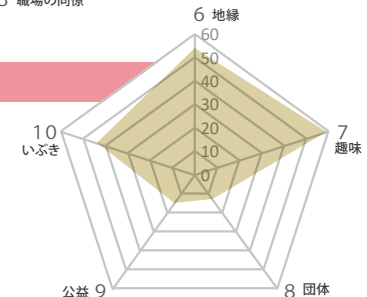
- 1.「親戚・親類(同居以外)」…85%
- 2.「近所の人」…73%
- 3.「職場の同僚」…43%
- 4.「友人・知人」…81%
- 5.「いぶき福祉会の会員」…51%



### ②互恵性の規範

Q.次の活動への参加の頻度

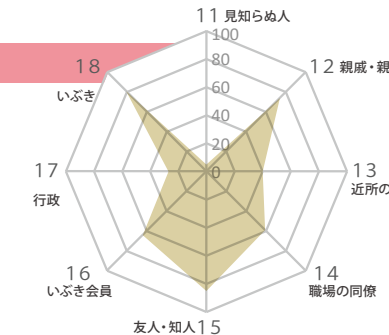
- 6.「地縁活動(自治会・町内会・老人会・PTAなど)」…54%
- 7.「趣味活動(スポーツ・芸術文化・生涯学習など)」…59%
- 8.「団体活動(商工会・宗教・政治など)」…13%
- 9.「公益活動(ボランティア・NPOなど)」…15%
- 10.「いぶき福祉会の活動」…44%



### ③相互信頼

Q.次の人たちへの信頼感

- 11.「見知らぬ人」…5%
- 12.「親戚・親類(同居以外)」…74%
- 13.「近所の人」…40%
- 14.「職場の同僚」…59%
- 15.「友人・知人」…85%
- 16.「いぶき福祉会の会員」…64%
- 17.「行政(政府や自治体)」…27%
- 18.「いぶき福祉会」…81%



詳しい結果はホームページに掲載しております。いぶき福祉会の活動への今後の関わり方や、いぶきファミリー入会のきっかけなどのコメントもご紹介しております。ぜひご覧ください。



アンケート調査設計者の声 木村真樹(合同会社めぐる)

設立30周年に向けて、掛け声的なスローガンで終わりがちな「誰もが安心して暮らせる地域づくり」のひろがりや、具体的に確認しようというチャレンジがすばらしいです。「ネットワーク」や「信頼」で、職場の同僚よりいぶきの会員の方が付き合いの頻度や信頼感が高かったことから、いぶきが丁寧に育んできたつながりを感じることができそうです。「回答率の低さ(約2割)」と「回答者の年代の高さ(7割超が50代以上)」は少し気になるところです。いぶきの職員や仲間のご家族以外の方、特に40代以下の方がいぶきとかわる仕組みづくりが、設立40周年、50周年を見据えると重要です。若者向けの新たな情報発信や場づくりを期待しています。



## 活動と目指すすがた

いぶき福祉会は、障害のある人とその家族のねがいから生まれ、私たちはそのねがいに丁寧に寄り添い、尊厳と人権を守りつづけてきました。その営みが、いぶきの枠組みを超えて人と人を結び、共感と協働をうみ、誰もが安心して暮らせる寛容な社会の実現につながると考えています。

### いぶきの活動

支援者、協働者、地域の方とともに  
障害のある人の  
ねがいにこそ

- 1.いのちと生活を支える
- 2.思いを育み役割を作る
- 3.つながり価値を創る

財源：活動を支えるお金

ソーシャル・  
キャピタルの  
高まり

### 目指すすがた

- 仲間** 地域で自分のやりたい暮らしを選び、給料と年金でいきいきと生活している
- 職員** 生産性や効率だけではない価値を大切に、協働を楽しみ、誇りをもって働いている
- 地域** 障害に関係なく、多様な人が認め合う存在となり幸福感が高まっている

↓  
どんな障害のある方も  
いきいきと暮らせる地域社会の実現



## いのちと生活を支える

- グループホーム ● ショートステイ ● ホームヘルプ ● 相談支援

おいしい空気を胸いっぱい吸い込んだり、楽しくおしゃべりしたり、好きなところにでかけてみたりすることが、自分だけでは難しい仲間たちもいます。だから私たちは、一人ひとりのねがいに丁寧に寄り添いながら、安心できる居場所や支えてくれる人がいる暮らしとともに作ります。



エンディングノートをつくっています



成年後見学習会



ホームでカラオケ大会をしました

### トピックス

- ガバメントクラウドファンディングを活用して、「わが子の幸せをたくすエンディングノートプロジェクト」の実施
- 第二いぶき防災デー開催
- 障害者権利擁護学習会の実施
- 新型コロナウイルスの施設内での発生と対応
- 放課後等デイサービス事業たーぶる事業終了

### こんな1年でした

2022年度も新型コロナウイルスの影響を受けた生活を強いられました。年間を通して全体閉所24日、一部閉所48日と施設運営にも影響ができました。そのような中で、相談支援部門を強化したことで家族と顔を合わせて話をする機会が増えました。また、エンディングノートプロジェクトの一環で親心の記録作成や学習会などを通して本人や家族と将来を考えました。

### なかまの すがた

## 経験を積み上げるなかで

山口 泰代

パストラルいぶきには、ショートステイを利用する仲間とグループホーム入居の仲間と一緒に過ごすことがあります。利用に向けて安心と安全に配慮して支援しているものの、外泊に慣れていないこと、自宅での生活とは違うリズムや雰囲気、不安が強い人もいれば、楽しみな気持ちで利用の日を迎える人もいて、色々な気持ちが交じり合っています。そんな中でも回数を重ねる毎に慣れていく様子が伺えます。お気に入りのグッズを持ってきたり、居室やホームのリビングでくつろげる場所を見つけたりする



夕食の風景



お部屋で好きなDVDを観ています

ことが安心につながっているように思います。また「いらっしゃ〜い、久しぶりやねえ」と、ホームの仲間から挨拶されたり、顔見知りの仲間同士が顔を合わせて微笑みあったりする様子は、日頃の関係が垣間見えて温かい気持ちになります。ホームの暮らしの様子を実際に感じることで、自宅以外での過ごし方の選択肢のひとつになればと思います。

### Fundraising



## 活動を支えるお金

社会福祉法人の基本的な運営費は公的財源でまかなわれます。しかし、わたしたちの目指すものを実現するには、十分ではありません。寄付や会費によって、多額の資金が必要な施設や備品、車両などが整備でき、運営費を仲間の活動や職員体制の充実にあてることができます。また、運営費は仲間の給料財源にはできません。そのため、仲間が関わる事業をより魅力あるものにし、仲間の給料を増やせるよう努力を重ねています。

財源

使い道

### 公的資金

(国の定める基準による運営費)

国・自治体からの  
サービス給付

日中活動  
支援

暮らし  
相談支援

地域協働

- 職員人件費
- 仲間の支援に伴う費用
- 施設の維持管理費など

### 寄付や会費

- いぶきファミリー会費
- 助成金、寄付、GHHP\*
- クラファン支援金

- グループホームの新築や修繕
- 仲間の活動や仕事に関わる設備や環境整備
- 送迎車両の購入
- 地域との交流や協働や学習
- 働きやすい職場づくり

### 事業収益

(仲間が生産・販売などに関わる)

- ネット販売・定期便
- 卸販売・バザー
- クラファン返礼品

仲間の給料

増やしたい!

\*GHHP(ぎふハッピーハッピープロジェクト):社会貢献に取り組みたい企業や団体と、地域の課題解決に取り組むNPOが協力して寄付つきプロジェクトを開発し、売り上げの一部が寄付されるプロジェクト



## 思いを育み、役割を作る

- 生活介護 ● 就労継続支援B型

工房でモノづくりをしたり、楽しく表現したり、畑仕事や販売まで、ここにはいろんな活動があります。役割があり、ともに取り組む仲間がいて、安心して自分の気持ちを出せる居場所があります。社会の一員としての誇りを感じ、障害年金と合わせれば暮らしていけるだけの給料の実現も目指します。



ニューイヤーコンサート開催できました



ペットボトルリサイクルでがんばっています



ジャム工房りすのほっぺ、マーマレード金賞受賞

### トピックス

- 岐阜市のペットボトル選別作業を受託
- 世界マーマレードアワードにて金賞・銀賞受賞
- お菓子の自動販売機で商品販売開始
- クラフトフェア・ぎぶ技能フェスティバル出店
- 第二いぶきニューイヤーコンサートを開催
- 百々染工房見学会の実施
- 定期購入『tabita便』登録者50名超える

### こんな1年でした

リサイクル事業(ペットボトル選別)がはじまり、製菓・農業・工芸など仲間がより多様なしごとをするようになっています。「柿びしお」など、生産・流通関係の方とともに新商品の開発に取り組むことが増え、多様なストーリーが生まれました。また、アート活動や交流など生産活動だけではないつながりが増え、仲間の活躍する場面が広がっています。

### なかまの すがた

## 思いをつなぐ野菜作り

川瀬 悟

私が働くグループでは野菜作りをしています。草引き、植え付け、水やり、収穫や運搬・仲間たちは、それぞれ自分が得意な仕事を担っています。そして、もう一つ大事な仕事があります。それは採れた野菜を食べてくれる人たちの所へ届けること、一生懸命育てた思いをつなぐことです。先日、玉ねぎの収穫の後に、篠原さんが突然「ソルジェンテ、納品するとね?」と言いました。ソルジェンテとはお疲れ様会で行ったピザ屋さん「ピッツェリアソルジェンテ」のことです。唐突に出てきたそのワードにびっくりしましたが「ソルジェンテさんに納品行きたいの?」と聞くと「はい!!」と目を輝かせて



メンバーとソルジェンテの前で



ソルジェンテの店長さんと、篠原さん

答えました。自分たちの野菜を、美味いピザを食べたあの店に届けたいという思いが膨らんでいたことに驚くと同時に、とても嬉しくなりました。その思いに応えるべく、お店にお伺いし経緯を話すと、快く対応してください「今度一緒にマルシェに出店しませんか?」というお話もいただきました。こんなつながりを丁寧に紡ぎ、野菜作りを通して、仲間たちと一緒に思いも育てていきたいなと感じた出来事でした。

## いぶきの活動 3



## つながり、価値を創る

- いぶきファミリー ● にっこりえんがわマルシェ ● 各種プロジェクト

いぶきは新しいモノやコトや場を次々と生み出しています。そこは人と人が出会う場所でもあります。障害のあるなしにかかわらず、新しい協働が生まれ、ただ楽しくもつつながりたいと思える場です。多様な役割を担いあえる多様な人の集まりはとても寛容で、新しい価値はそんな場所から生まれます。



まるっといぶき感謝デー  
オンライン開催



2022ピースアクション折り鶴平和行進



ぎぶハッピーハッピープロジェクト活動報告会

### トピックス

- にっこりえんがわマルシェの開催(8回)
- 地域のおばあちゃんと小麦粉袋のアップサイクル
- えんがわスケッチ(WEBサイト)開設
- リサイクルセンターの見学会実施(10回)
- 継続支援者とのつどい実施
- まるっといぶき感謝デー開催
- 岐阜県美術館鑑賞会、塔本シスコ展コラボ商品開発(岐阜県美術館との協働)
- ハレバレごはん実施でひとり親家庭にお弁当をお届け

### こんな1年でした

見学会、つどい、協働プロジェクトなど、オンラインでのやりとりに加えて、直接会って取り組みをすることが増えました。特に、にっこりえんがわマルシェに象徴されるように顔のわかる規模で定期的に開く機会を大切にしてきました。仲間との取り組みだからこそ起きるできごとや体験は、参加者の楽しみや驚きなどの感情をいっそう豊かにしました。

### なかまの すがた

## 規格外の柿をジャムに ほっぺのSDGs

浅野 裕美

岐阜名産の果物と言えば柿です。昨年、日本食文化会議との協働で規格外の富有柿を使ったジャム「柿びしお」の開発をしました。柿びしおは、加熱するほど旨味成分が凝縮されるため、通常のジャムよりも長時間、手間暇がかかります。仲間たちは「熱いけど、がんばって混ぜる」と火傷に気を付けながら炊き上げをしています。お披露目の試食会には、岐阜市長の柴橋さんや関わってくださった方々をお招きし、仲間たちはホスト役を務めました。事前に柿びしおは何に合せて食べるというのか色々な食材を試しました。当日は市長にお褒めの言葉をいただき、山元さんは「うれしいね」「また



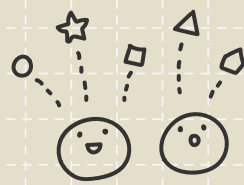
山本佐太郎商店さんとラジオ出演



仲間が見守る中試食いただきました

がんばって作ろう」とニコニコしていました。そして、岡部さんはFM-PiPiラジオで山本佐太郎商店さんと一緒に柿びしおの魅力を語りました。あまり喋ることが得意ではない岡部さんですが、堂々と紹介することができ、自信にもつながったようです。実績が認められて新たなものづくりを任せられ、それが社会とつながるアイテムになっています。これからもジャム作りを通して広がる関係の中でみんなと成長していきたいと思えます。





## 新たなつながりと、育んだプロジェクト

たくさんの対話が生まれ、私たちや地域を支える大きな力となっています。



### 4月 エンディングノートプロジェクト

いぶき内で、わが子の幸せをたくすエンディングノートプロジェクトチームをつくり、法人内外で考える活動をスタートさせました。岐阜市の専門部会でいぶきの親なき後の取り組みの発表、施設内での親心の記録の勉強会、講師を招いて成年後見や財産分与の学習会を実施、報告集の作成と親なき後を考える第一歩を踏み出しました。



### 10月 岐阜県美術館 ～ながラー×いぶき

アートコミュニケーター「～ながラー」のみなさんとの2年目の協働。「どうしたら障害のある人が美術館に行きやすくなるか? どうすればより楽しめるか?」ということと一緒に考えました。秋から理解を深める対話をはじめ、11月にはいぶきを見学。12月には仲間たちが美術館での鑑賞を楽しんだり、館内で好きなことをしたりして過ごし、つながりを深めたことで美術館との距離が近くなりました。



### 11月 コミュニケーションサイト えんがわスケッチ

いぶきとつながる人たちに、日々の出来事や考えていることを綴っていただき、紹介するサイトです。「えんがわ」は、外と中とをゆるやかにつなぐひらかれた空間です。そんな場所で、多様な人々がスケッチをするようにいろんな願いや想いを描き、語りあう。関わる人がさらに増え、つながり楽しさが膨らむ。そんなサイトをみんなで、ゆっくり育てています。



### 12月 障害者権利条約 学習会

岐阜県孤独・孤立対策官民連携事業の助成事業として、12月と2月に開催。きょうされんの赤松英知さん、さくらんぼ福祉会の大野健志さんを講師に迎えました。40名を超える教育福祉関係者と9月に出された障害者権利条約の対日審査総括所見にこめられたメッセージをひもとき、守るべき人権と尊厳に立ち戻りながら学びを深めました。



### 1・2月 孤独・孤立対策プロジェクト ハレバレごはん

今回で3年目となるハレバレごはんは、生活に困難を抱えている方に、いぶきの自然栽培の野菜とお米のお弁当を届けるプロジェクトです。Kouzo Gifu、楮mino、フードバンクぎふ大垣本部、ひとり親Cheersのみなさんの協力をいただき、生活困窮世帯、ひとり親世帯などに合計205食を届けました。



### 3月 ケアする人のケア セミナーin岐阜

住友生命福祉文化財団とたんぼの家が12年前から全国で開催するセミナー。実行委員会の中心を担い、4年越しで岐阜で開催できました。分野を超えた190名の方々が対話し共に学び、誰もがささえあいながら人間らしく生きられる社会「ケアリング・ソサエティ」の実現をめざす新しいつながりが生まれました。

partner's  
パートナーズボイス  
VOICE

いぶきとともに、歩んでくださる方々に思いを語っていただきます。

No.002

音楽療法士  
粥川 由美さん



毎週金曜日、シャランシャランとにぎやかな音をまといながら、両手いっぱい楽器を抱えて登場する粥川由美先生。粥川先生の音楽療法はいぶきのみなさんにとって特別な活動です。はじまりの音楽がかかると表情がぱっと変わり、ワクワクした眼差しで先生を見つめます。視線や体のわずかな動きも丁寧にみとり、仲間たちの「やってみよう!」という気持ちを一番尊重してくれま。音楽を通して次はどんなやりとりが広がるかな? 金曜日が待ち遠しい私たちです。(大堀愛子)

## ♪ 音楽でつながる喜び

毎週金曜日、仲間の柔らかい笑顔、職員さんの『おはようございます!』という元気な声に迎えられる音楽療法の一日が始まります。早いもので、いぶき福祉会さんとの出会いは20年前に遡ります。当時音楽療法について県内ではまだ周知もエビデンスも十分ではなかった頃にご理解をいただき、いぶきさんに音楽療法をスタートさせていただきましたこと、感謝しかありません。



すてきな音が鳴らせたことを喜び合っ

れの音の受け止め方は異なりますが、部屋にいるみんなが音で繋がっていることを実感します。音は人の心を容易に動かします。それはプラスなこともマイナスなこともあります。貴重な音楽療法の1時間、配慮を怠ることなく繋がる喜びを大切に、これからも楽しく活動していきたいと思っております。



プログラムの中で一番大切にしているオートハープ演奏

長きにわたり音楽療法を取り入れていただき、本当にありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。最近のこらぼでの人気曲は『愛の花』♪愛の花をあなたに～皆様にも愛の花がたくさん咲きますように。



音楽療法の最後はパラバレーン



# 数字で見るいぶき

2022年度のいぶきの活動を象徴する数字を集めました。



オリジナル商品の数

**48品**

(昨年度:45品)



仲間の平均給料  
(月額)

**14,614円**

(昨年度:14,023円)



商品の売上金額  
(法人全体)

**36,792千円**

(昨年度:35,286千円)



寄付金額  
(法人全体)

**8,107千円**

(昨年度:5,906千円)



仕事の  
パートナー数

**79**

(昨年度:60)



ファミリー会員数

**735人**

(昨年度:650人)



メルマガ  
登録者数

**2,245人**

(昨年度:2,025人)



2022年度末

## 2022年度財務報告

2022年4月1日から2023年3月31日

(単位:円)

勘定科目	社会福祉事業			P8の「活動を支えるお金」の項目	
	当年度決算	前年度決算	増減		
サービス活動増減の部 収益	就労支援事業収益	36,792,415	35,286,573	1,505,842	事業収益(仲間が生産などに関わる)
	障害福祉サービス等事業収益	710,127,678	715,608,683	▲5,481,005	公的資金
	補助金事業収益	10,761,240	6,827,741	3,933,499	公的資金+事業収益(仲間が生産などに関わる)
	受託事業収益	12,069,144	919,000	11,150,144	寄付や会費
	経常経費寄附金収益	8,107,078	5,906,498	2,200,580	
	サービス活動収益計	777,857,555	764,548,495	13,309,060	
費用	人件費	538,282,701	539,293,171	▲1,010,470	職員の人件費支出
	事業費	85,964,784	77,293,878	8,670,906	障害福祉サービス活動等の支出
	事務費	85,137,023	74,904,334	10,232,689	仲間の給料などの事業支出
	就労支援事業費用	37,681,527	38,673,751	▲992,224	固定資産の減価償却費
	減価償却費	34,901,782	37,268,560	▲2,366,778	国庫補助金の減価償却費
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲14,747,085	▲16,697,326	1,950,241	
	サービス活動費用計	767,220,732	750,736,368	16,484,364	
サービス活動増減差額	10,636,823	13,812,127	▲3,175,304		

### 収益(収入)

就労支援事業収益 (商品などの売上額) 定期購入tabita便を開始。リサイクルセンターの受託事業(仲間工賃分)やカタログ・企業からの受注などによりコロナ禍での減少を回復しました。

障害福祉サービス等事業収益 コロナ禍でグループホームや放課後等デイサービスが大幅減収しましたが、日中活動事業所の在宅支援(代替サービス)で収益を維持することができました。

補助金事業収益、受託事業収益 物価高騰対策、SDGs、孤独・孤立対策などの補助金、ガバラ交付金など。リサイクルセンターの委託事業も含まれます。公益的な活動財源、高騰する光熱費ガソリン代補填に充当しました。

経常経費寄附金収益 いぶきファミリー会費、ぎふハッピーハッピープロジェクト登録団体様からの継続寄付です。活動や建物の修繕などに活用しています。

### 費用(支出)

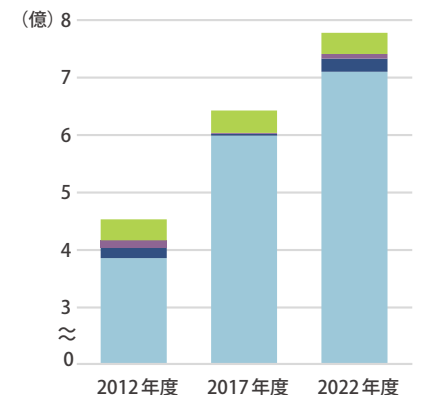
人件費 人件費比率(人件費/サービス活動収益計)は69.2%。7割以下が目安です。

事業費 昨年度比較で水道光熱費+453万円、ガソリン代等の車輦費+371万円の増額。物価高騰対策補助金では補いきれませんでした。

就労支援事業費用 仲間の平均給料は月額14,614円。昨年度より+591円増額し、賞与も例年通り年2回支給できました。

サービス活動増減差額 減価償却費等を含めた増減差額です。法人の財政を維持できました。

### 財源の推移 (活動を支えるお金)



事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。又、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年5月23日 監事:早野 幸広 監事:井川 俊二

わたしたちが、  
経理を担当しています。



井上浩美 和田善行 安江みなこ

※貸借対照表・資金収支計算書・財産目録は、紙面の都合により省略されておりますが、当法人WEBサイトに開示しております。  
<https://ibuki-komado.com/about>







## 2023年度の取り組み

仲間やその家族の高齢化が進み、支える家族や職員の環境も変わる中、誰もが安心して暮らせる、寛容な社会の実現をめざし、日々の丁寧な実践と、ともに地域をつくる多様な人たちの協働をすすめます。



## いぶきを応援

障害のある人の活動を支えながら、つながりの深い社会づくりに参加しませんか？みなさまのご支援、ご協力をお願いします。

### いぶきの活動

1



いのちと生活を支える

新型コロナウイルス感染症が感染症分類の5類に引き下げられましたが、ひきつづき感染予防を行いながら、地域の中で仲間とその家族が安心できる暮らしを創ります。

「親心の記録」の作成、「親ある間の親なき後準備講座」の開催を中心としたエンディングノートプロジェクトに引き続き取り組み、仲間やその家族の高齢化を支えています。

意思決定支援を大切に、相談支援部門、日中活動支援、暮らしの支援部門の連携を深め、仲間一人ひとりにあった生活を仲間自身と家族とともに作ります。

BCP(災害等の緊急事態発生時の事業継続計画)の作成をすすめ、パストラルいぶき防災拠点での地域交流事業などを通じて災害時の課題共有や支え合いの仕組みを作ります。

### いぶきの活動

2



思いを育み役割を作る

コミュニティ(社会関係の網の目)の中で、一人ひとりがかけがえのない存在となる役割をつくります。その営みを丁寧に伝え、共感しあえる関係を育み、仲間が誇りをもって取り組み、生活の基盤となる給料につながる仕事を作ります。

岐阜市リサイクルセンターでペットボトル選別作業を担い、その経験を発信しながら、資源活用や環境についての地域意識の向上に貢献していきます。

定期的にお届けするtabita便に参加する人をさらに増やし、仲間が活躍する機会を広げます。

高齢や障害でできることが変わっても、誇りを失わず役割を担うことができる仕事づくりを進めます。

地域協働の活動の運営に、仲間が仕事として携わる機会を増やします。

### いぶきの活動

3



つながり価値を創る

法人の公益的な取り組みを積極的に展開し、地域の多様な方が気軽に参加できる協働と学びの場をつくることで、ソーシャル・キャピタルの醸成をはかります。

「ぎふハッピーハッピープロジェクト」「いぶきファミリー団体会員」などの参加よびかけを通じ、企業や団体と地域づくりのパートナーとしての関係を深めます。

「にっこりえんがわマルシェ」「第二いぶき感謝デー」「ハッピーウォーク」「コミュニティガーデン」といった地域住民が気軽に参加できる活動を継続し、地域との日常的な関係を広げます。

仲間や職員、地域の方も一緒に平和や環境をともに学ぶ場を継続的に開催します。

会報「夢もっとひろがれ」やホームページ「いぶきの小窓」「えんがわスケッチ」、ネットショップ「イブキスタイル」「えんがわマルシェ」の充実をはかり、いぶきの活動や地域協働に関わる人と双方向・網の目のコミュニティをつくります。



いぶき応援サイト

えんがわ  
marche



ibuki-engawa.com

ご寄付

個人・団体

全額、障害福祉の現場で活用されます

◎団体・法人：1口10,000円

◎個人：1口1,000円

※何口でもお選びいただけます。ご寄付のお申込みは、直接受け取りや、振込みでもお受けしております。

商品のご購入

お得な送料無料商品もあります。



マンスリー会員  
いぶきファミリー

月々定額の会費で、いぶきの活動を継続的に応援する仕組みです。

1口：250円・500円・1,000円

※何口でもお選びいただけます。

郵便振替、銀行振込(年払い)もお受けしております。ご希望の方はご連絡ください。

楽しいおいしいで応援  
定期購入『tabita便』

からだに優しい安心なお菓子やジャム、お茶などを詰め合わせてお届けします。

①定期便：1回2,000円

サイクル：1ヶ月～3ヶ月

②全2回：10,000円

お届け：6月・12月

お届け先の変更や、お好みの商品をリクエストいただくことも可能です。

ご不明な点などございましたらお気軽にご連絡ください。

TEL:058-233-7445 平日:9:00～17:00

メール: ibuki.m@ibuki-komado.com

法人のみなさま

ぎふハッピーハッピープロジェクト

寄付つきプロジェクトで応援



売上げの一部が誰もが幸せを感じられる地域づくりに役立てられる「寄付つきプロジェクト」を一緒に考えてみませんか？社会貢献が貴社の商品やサービスの販売促進にもつながります。※詳しくは、WEBサイトでご確認ください。

例えばこんなこと



HHPサイト  
https://hhp-gifu.com/  
TEL 058-233-7445

法人のみなさま

個人のみなさま

一緒に楽しんでください



- ①日々の活動の様子をSNSやホームページでご覧いただけます。いいねやシェアが励みになります。
- ②ネットショップ『えんがわマルシェ』や『イブキスタイル』にていぶきの商品が購入できます。
- ③一緒に商品開発をしたり、イベントを開催したり、できることを持ち寄り、ともに地域や福祉を盛り上げていただけませんか？



法人サイト



イブキスタイル



えんがわマルシェ

税額除対象法人となりました

社会福祉法人いぶき福祉会は2023年3月16日に税額除対象法人になりました。これとともない、いぶき福祉会へのご寄付(いぶきファミリー会費も寄付と同様の扱い)は、税制上の優遇措置として、所得控除と税額除除を選択できるようになります。なお、控除を受けるためには確定申告が必要です。所得などご本人の状況により異なりますので、詳しくは最寄りの税務署へお問い合わせください。

寄付・遺贈寄付を  
受け付けております

ご相談は、いぶき福祉会本日まで  
TEL.058-233-7445



いぶきファミリー団体会員のみなさま、ぎふハッピーハッピープロジェクトパートナーのみなさま

 <p>食品や雑貨などをご自宅までお届けします。 コープベル <b>0120-706-887</b></p>	<p>人権尊重と非営利</p>  <p>社会福祉法人 <b>みどり福祉会</b></p> <p>〒501-3113 岐阜市北山1丁目15番25号 TEL:058-244-1210</p>	<p>有限会社 <b>車屋商店</b></p> <p>プロパンガス・ガス器具・米・灯油</p> <p>TEL : 058-229-1321</p>
	 <p><b>極東サービスエンジニアリング株式会社</b></p> <p>代表取締役 山根 哲</p> <p>〒140-0002 東京都品川区東品川3丁目15-10 TEL.03-5781-9833</p>	 <p>https://ku-gu.com</p>
 <p>ホームページ制作・DTP・パソコン販売修理</p> <p><b>株式会社ワンステップ</b></p> <p>〒500-8356 岐阜県岐阜市六条江東1丁目8番5 ☎ 058-214-8505 ✉ info@onestep65.com</p>	 <p><b>ORGAN</b></p>  <p>NPO法人 ORGAN 岐阜市湊町45 TEL 058-269-3858</p>	 <p>株式会社 <b>岐阜ガレーヂ</b></p> <p>本 社：岐阜市京町2-12 TEL058-265-0301 第二工場：岐阜市黒野南1-84 TEL058-239-3541</p>
<p>未来の福祉社会の設計へ・・・ ICS は福祉システムを通じて、 広く社会に貢献したいと考えております。</p> <p><b>株式会社 ICS</b></p> <p>アイシーエス姫路市ウエルフェア株式会社 《重度障がい者多数雇用モデル事業所》厚生労働省認定 TEL.079-235-0066 URL: https://www.ihw.co.jp</p>	 <p>消防用設備 災害備蓄品</p> <p><b>株式会社 三陽商会</b></p> <p>岐阜支店：岐阜市真砂町4-15 TEL : (058) 267-6556 FAX : (058) 267-6557</p>	<p><b>DUSKIN</b></p> <p>喜びのタネをまこう</p> <p>株式会社 ダスキン長良</p> <p>TEL.058-232-4147</p>
 <p><b>杉山製作所</b></p> <p>鉄家具 アイアン建材 コントラクト家具 店舗什器 501-3829 岐阜県関市旭ヶ丘3-13 www.kebin.jp</p>	 <p>福祉を切り口とした 調査・計画づくり・出版など</p> <p><b>株式会社エディケーション</b></p> <p>https://edication.jp</p>	 <p><b>MAトラスト株式会社</b></p> <p>代表取締役 CEO 浅野 真</p> <p>東京都千代田区内神田2-7-9 浅野屋ビル5F TEL:03-5564-5122 mail:asano@ma-trust.jp https://www.ma-trust.jp</p>
<p>ライオン業務用代理店</p>  <p>有限会社 <b>ハロー産業</b></p> <p>〒501-1136 岐阜市黒野南3-153-1 TEL.058-234-0620</p>	 <p><b>山本佐太郎商店</b></p>	<p><b>ORPHIS GL9730</b></p> <p>A4サイズ 片面フルカラー 最速 <b>165枚/分</b> <b>1.44円/枚</b></p>  <p>株式会社 <b>ジムブレーション</b></p> <p>本社・岐阜支店/〒500-8382 岐阜市藪田東2-8-13 TEL 058-273-5566 FAX 058-273-1564</p>

 <p><b>PANTRY</b> by coneru</p>	 <p>Total Car Service <b>G-TWO</b></p> <p>有限会社ジーツー</p> <p>〒501-2601 関市武芸川町谷口1727-1 TEL.0575-46-3816</p>	 <p><b>Smile Mi</b></p>  <p>愛知県名古屋熱田区新尾頭三丁目4番25号 本社TEL.052-682-1603</p>
<p>悩まないでまず弁護士にご相談ください</p> <p>弁護士法人 <b>岐阜合同法律事務所</b></p> <p>TEL058-264-3780 http://www.gifugodo.jp/</p>	<p>あるものはいかそう ないものはつくろう</p>  <p>miyukidesign inc.</p>	 <p>建築企画・設計・監理 <b>株式会社エコプラン</b></p> <p>代表取締役 林 直見</p> <p>岐阜市鏡島精華2丁目4番15-101 T E L : 058-255-0345 E-mail: eco@ecoplan.co.jp U R L : http://www.ecoplan.co.jp</p>
 <p>建築・設計・施工・リフォーム・不動産</p> <p>株式会社 <b>相宮工務店</b></p> <p>〒500-8034 岐阜市本町2丁目17番地 TEL058-262-5505(代) FAX058-262-4184</p>	<p>生命保険・損害保険の代理店です</p>  <p>株式会社 <b>MIMAMORU</b> —ミマモル—</p> <p>TEL(058)215-9137 FAX(058)215-9138 Email:mimamoru@kir.biglobe.ne.jp</p>	 <p>弁護士法人 <b>長良橋通り法律事務所</b></p> <p>岐阜市神田町1-10-2小森ビル2F TEL.058-262-5644</p>
<p><b>伊佐地薬局白菊店</b></p> <p>有限会社メディカル・アシスト・アイ</p> <p>岐阜市白菊町2-28</p>	<p>いつもの暮らしを心地よく</p> <p><b>LIMES</b></p> <p>DESIGN SQUARE</p> <p>家具・カーテン・雑貨・本</p>	<p>各種損害保険・生命保険代理店</p> <p>有限会社 <b>アイエイチプランニング</b></p> 
<p>可能性をひらくデザインで しあわせな毎日をつくる</p>  <p><b>Leapy</b></p> <p>株式会社リーピー</p> <p>Web制作・人材紹介 https://leapy.jp</p>	 <p>創業天保六年(1835)</p> <p>合資会社 白木恒助商店</p> <p>TEL.058-229-1008</p> 	 <p>未来を創造するための会計</p> <p><b>藤垣会計事務所</b></p> <p>税理士 藤垣 寿通</p> <p>TEL (058) 215-1030</p>
<p>一新建設株式会社</p> <p>災害時に避難所に行かなくてもいい家づくり</p>  <p>建築 施工 ISHIN</p>  <p>建築 設計 At Hearth</p>	 <p><b>和模型工房</b></p> <p>www.wamokel.com 〒500-8286 岐阜市西錦3-65-1</p>	<p>社会福祉法人いぶき福祉会 年次報告書 2022 《夢よもっとひろがれ》</p> <p>発行日 2023年7月 発行人 横山文夫 編集責任者 北川雄史 制作 いぶきデザイン室 山本友美 協力 いぶきの仲間たち</p> <p>社会福祉法人いぶき福祉会 〒502-0907 岐阜市島新町5番9号 TEL : 058-233-7445</p>